

vol. 18

団地生活の安全・安心・快適をサポートします

JS plus  
[ジェイエス・プラス]

JS LIFE DESIGN MAGAZINE

CONTENTS



- 1 特集  
シニア世代のパソコンライフ入門
- 8 快適生活のミニ知識  
本多弘美の 収納上手へのポイントレッスン ～下駄箱編～
- 9 随筆  
「メモ帳から」その18 大槻茂
- 10 CLOSE UP 団地ライフ  
長年かけて培った人と人のつながりを大切にしていきたい  
千葉県船橋市の高根台団地自治会
- 12 平野レミの“早ワザごはん”
- 14 こんにちはJSです。  
清掃と点検で快適な住環境に－業務課・クリーンメイト
- 16 読者のお便りから READER'S COLUMN
- 17 JSからのお知らせ JS INFORMATION

表紙イラスト：国分 <sup>くにぶ</sup>チエミ

特集

## シニア世代の パソコンライフ入門

近ごろ気になるメールにインターネット。  
「友人はもうパソコンを使っているらしい」  
「遠くに住んでいる孫とテレビ電話で話が  
できるって本当かしら？」  
「パソコンなんて触ったら壊れそうだし  
でも、このままだと時代に取り残されそう……」  
パソコンに興味津々というシニアのみなさん。  
パソコンに親しむための秘策のあれこれ  
とっておきの方法を教えます。  
肩の力を抜いて取り組んで  
パソコンライフへの第一歩を踏み出しましょう。



## いまから始めるパソコンライフ



パソコンで親交を深めたり、仲間たちと交流の輪を広げたり、暮らしの中でパソコンを使うシニアが増えています。これから始めようという人も多いのですが、やはり最初が肝心。気軽に楽しくパソコンと付き合う方法を「コンピューターおばあちゃんの会」の代表・大川加世子さんに伺います。パソコンライフを楽しむコツを教えてください。

### ●パソコンは生活を楽しむ道具

「コンピューターおばあちゃんの会」は、大川さんが12年ほど前に立ち上げたほぼ70歳以上のお年寄りのためのパソコン同好会です。おばあちゃんの会という名前ですが、おじいちゃん会員もいて、パソコンを共通の趣味としてつながる全国組織です。大川さんは、この会の第一歩をどう始めたのでしょうか。

「最初は、区役所が出している広報誌に“高齢者のパソコンサロンを作りました。一緒に遊びませんか？”という無料の募集広告を載せてもらったんです。そして区の無料の施設を借りてサロンを始めました」

発表式は大盛況で定員40人の部屋に150人の参加。集まった人たちは「いくつになっても世の中から置いていかれずに、できる限り世の中につながりたい」と、大

川さんに訴えたそうです。

「年を取るとどうしても外出の機会が減ったりしますが、それをカバーしてくれるのがパソコンです。足腰が弱って銀行やスーパーまで行けなくなってもパソコンを使って必要な手続きや買い物ができる時代です。仕事をリタイアすると人付き合いも減ってきますが、メールのやりとりをしているとおしゃべりを楽しめ、すぐ隣に友人がいるような気がしてきます。パソコンは高齢者の必需品、生活を楽しむための大切な道具です」と大川さん。

### ●パソコンを難しく考えない

パソコンに触れる最初の一步がなかなか踏み出せないというシニアも多いらしいですが、大川さんの会のメンバーはどうやって

て始めているのでしょうか？

「覚えるという作業はちょっと遅め。だからといって、

高齢者はパソコンなんてできっこないと決めつけるのは間違いですよ。90歳以上の会員もパソコンを覚えて楽しんでいます。パソコンと聞いて、難しく考えなくてもいいの。時間をかけて覚えればいいんですから」

そして「基礎も理論も後回し、面白いことから入ってゆきましょう。マニュアルを見ながら関心のない細かいところまで学ばないといけないと思うから、面白くなって途中で嫌になって挫折することが多いんです」という



大川さんに、パソコン第1歩目の取り組み方について伺います。

「大事なことは、パソコンに対して持っている仕事をこなすようなイメージをなくすことです。別に、ブライ

ドタッチなんかできなくてもいいんですよ。早くキーを打つ必要はないので、1本指でゆっくりキーボードを押せばいいの。“こんにちわ”や“さむいね”といった短い文字を打って、メールのお返事が返ってきた時の嬉しさったらありません。あとは文字の数が増えていだけ。まずは交流することです。楽しいと思うことを遊び感覚でやってみましょう」足踏みしていないで始めましょ、と大川さん。

◎毎年、全国の会員たちがその地方の季節行事を盛り込んで作るカレンダー



会  
員  
た  
ち  
が  
笑  
顔  
で  
楽  
し  
ん  
で  
い  
る  
「  
コ  
ン  
ピ  
ユ  
ー  
タ  
ー  
お  
ば  
あ  
ち  
ゃ  
ん  
の  
会  
」  
の  
パ  
ソ  
コ  
ン  
サ  
ロ  
ン。



パ  
ソ  
コ  
ン  
シ  
ョ  
ッ  
プ  
や  
老  
舗  
の  
味  
を  
巡  
る  
オ  
フ  
会  
を、  
遠  
足  
気  
分  
で  
楽  
し  
む  
会  
員  
の  
皆  
さ  
ん。



おおかわ かよこ  
大川加世子さん

「コンピューターおばあちゃんの会」代表。1930年、東京生まれ。高齢者のためのパソコンサロンを開催し、同会を設立。孫に伝えよう戦争体験「私の8月15日」や「わらべうた」の保存に努めるなど、高齢者にしかできない企画を展開し注目されている。

コンピューターおばあちゃんの会HP <http://www.jijibaba.com/>



## パソコンとの楽しい出会い方



### ●パソコンに触ってみよう

では、パソコンにちょっと触ってみましょう。パソコンは買ったもののわからなくて放置しているという人は引っぱり出して、家族が持っている場合は少しだけ貸してもらって。手元に見あたらないという人は、役所などの無料のパソコン教室の開催などを利用することからスタートしてみるのもいいでしょう。

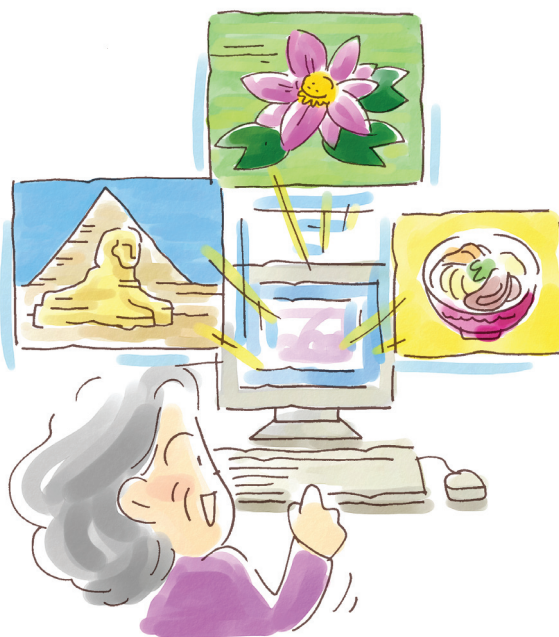
「買って使いこなせるかどうか不安という人も多いと思います。そういうときは、友人知人を募って、パソコン探検ツアーに出かけてみませんか。このツアーは遠足気分で行けるので会でも一番の人気プログラムになっています。ショップには最新型のパソコンが並んでいるし、わからないことは店員さんが教えてくれます。今までまったく触ったことがないようなスキャナーやプリンター、デジカメといった周辺機器もあるので、いろいろ見て触って、まずはパソコンに慣れましょう。もちろん、知識の豊富なアドバイザーが同行してくれるなら、これほど心強いことはありません。そういう人を身近にいる人の中から見つけてお願いして一緒にきてもらうと安心ですね」

どんなパソコンを買えばいいかと、会のメンバーから聞かれることも多い大川さんは、「身近な人で、何でもすぐ聞ける人が使っているのと同じ機種にするのがいいですね。」

困ったときに質問できるから」と答えているそうです。

### ●好きなことに特化して楽しもう

「パソコンの楽しみ方は簡単。好きなことから始めるだけ。余分なことはやらない。パソコンで何をしたいのか、やりたいことを挙げて、それだけを教えてもらいすぐにやってみます。パソコンの楽しさや面白さを味わうことが、驚きや喜びになって意欲につながります。パソコン上達の早道は、自分が興味のあるものや何をしたいのかを最初にはっきりさせることです」



りさせることです」

ここで参考に、会員の皆さんのやりたいことを教えていただきましょう。

「初めてパソコンに触った80代の女性が、旅行に行った先の地図や情報を見たりして3時間熱中していたこともあります。今度アメリカ旅行に行くから、私は旅行のチケットを予約したいという方もいました。孫が遠くに住んでいるんだけど、声が聞きたい、顔が見たいという方もいました。友人とメールの交換をしたい。世界の美術館を見たり、映画や舞台のチケットを買って座席指定をした

りしてみたい。田舎の自分の生まれた町は今どうなっているのか確かめたいなど、皆さん、自分がやってみたいことを明確にして、やりたいことを実現しています」

会の皆さんに倣って、自分がどんなことをしてみたいのか思い描いて、パソコンに親しんでみましょう。



▲六甲全山を縦走する健脚の会員は、須磨アルプスの名勝馬背に登った様子をデジカメ写真で報告。



▲北海道の北見に住んでいる会員から、流氷着岸のニュース写真が届く。



写真加工ソフトをインターネットからダウンロードして加工を楽しむ会員の作品「水仙」。

写真かと思っただけリアルな月と跳ねるウサギ。会員の手書き作品「仲秋の名月」。

## パソコンで異世代交流、仲間作りを



### ●パソコンで世代間の交流を

楽しいパソコンライフを実現するためになくてはならないのがサポーターの存在です。大川さんの会では、パソコンの使い方を教えてくれるボランティアを募集して中学生から大学生、サラリーマンなど若いサポーターの協力を得ています。

「広報誌に“高齢者にパソコンを教えてくれる無償のボランティアを募集します。同じことを10回聞き返しても怒らない人”という条件を出したら、いい人たちが来てくれました。教えるのが上手で“人に喜ばれるのがこんなにうれしいことなのか”といって感謝してくれる人たちです。日本の若い人は捨てたもんじゃないですよ」

90代のお年寄りにパソコンを教える中学生の姿は、見ていて微笑ましいという大川さん。会の後のミーティングでは老いも若きも皆さん和気あいあい。パソコンは共通の話題になりやすいので、世代を超えて自然な交流が生まれます。

サポーターのを見つけ方としては、やはり家族がいちばん身近な存在でしょう。初心者向けのパソコン操作は電源を入れて消すことからスタートします。あまりハードルが高いと家族も教えるのを嫌がるかもしれませんが、第一歩のことならサポーターになってもらえるはず。ここはひとつ、大川さんの募集を真似て“同じことを10回聞

き返しても、気長に教えてね”と頼んでみては、いかが。パソコンが共通の話題に



なって、家族との会話も今まで以上に弾むのではないのでしょうか。シニア世代がパソコンに興味を持った時は、周りものんびりと見守ってあげることが大切です。

### ●仲間を作り励まし合っていこう

パソコンは一人で始めるよりも仲間がいたほうが楽しいものです。

友人知人とメールのやりとりはもちろん、役所などが開催するパソコン教室に参加してみたり、ネットを検索してお年寄りたちが集まるサイトを覗いたり、趣味が合うサイトを見つけるのもいいでしょう。沖縄から北海道まで全国各地に気が合う仲間ができるかもしれません。大川さんの会には北海道から九州、沖縄、宮古島、ハワイ、アメリカなどの参加者もいるそうです。

仲間を作る際に注意したい点を大川さんに伺ってみました。

「仲間作りで何より大切なことは楽しい環境作りです。ネチケット（インターネット上のエチケットのこと）を守って、お互いに穏

やかな雰囲気の中で良い関係を育んでいきたいですね。特にメールのやりとりだけという顔の見えない人に対しては言葉を選ぶことが大切です。会では、メーリングリストという24時間オープンのおしゃべり広場があり、会員たちがおしゃべりを楽しんでいます。人生経験豊かな高齢者は他人の痛みのわかる人が多く、助けあったり教えあっ

て“ありがとう”メールが飛び交います」家族と共通の話題が増えたり、新しい人との出会いがありそうなパソコンライフ。操作方法に関することは、パソコンを始めてからゆっくり覚えることにして、まずは、パソコンでやってみたいことを一つだけ選んで、パソコンライフへの一歩を踏み出すことから始めませんか？

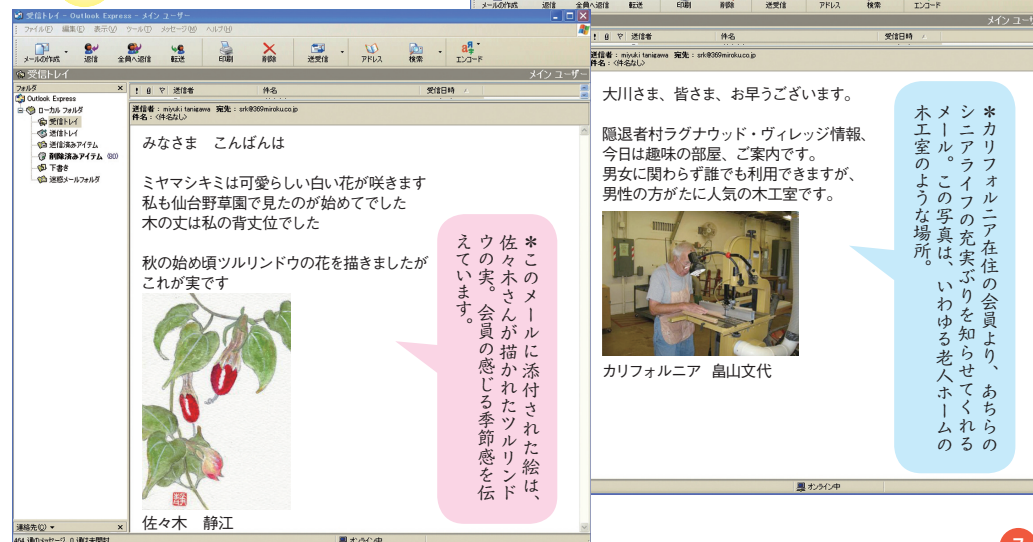
#### 「ネチケット！ここに気をつけて」

「コンピューターおばあちゃんの会」のネチケットを紹介しましょう。気をつけるべきことは、常識的なことばかり…。

- メールなどを利用して宣伝広告を行わないこと
- ものを売る行為を行わないこと
- 政治と宗教の話はしないこと
- 個人が一所懸命作ったものはその人の著作権があるので、侵害しないこと。
- アンチウィルスソフトを入れておくこと。

#### メール紹介

「コンピューターおばあちゃんの会」メンバーのメーリングリスト・メールより





今号から場所別に収納のポイントを3回に分けてご紹介します。一回目は、お家の顔とも言える玄関の中で一番大変な下駄箱の整理です。

玄関に入るといつも靴があふれて雑然としているのは、下駄箱をどう使いたいか方針が決まっていないため。何を優先して収納したいのか、まず考えてみましょう。

### 収納量・たくさん収納したい

同じ高さの靴をグループ分けして、靴の高さぎりに棚板を移動させると、無駄な空間が出ないため、かなり収納できるはず。きっと棚板がもう一枚増やせます。

サンダル  
ハイヒール  
革靴  
スニーカー  
背の高い靴



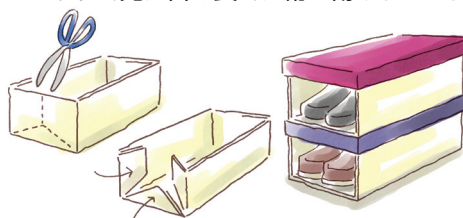
◎収納量は増えますが、下駄箱の中で家族個々の靴がバラバラになったり、天気や季節に目をつぶっているため、機能面に不満が残る場合も。

### 機能性・使いやすい収納希望

家族のことを考えて人別・シーズン別にすると、収納量は減ってしましますが使い勝手は良くなるはず。家族の身長の高さに合わせて棚の位置を決めると出し入れが簡単になります。

### インテリア性・見た目がきれいに収納したい

靴のつま先をすべて手前に収納すると、履きたい靴が一目でわかるし、見た目もきれいです。また、靴箱の側面に窓を開けて収納すれば、中がわかりやすく見た目も良く、靴が傷みません。



◎靴屋さんがくれた靴箱の短い側面を逆Y字に切って中に折り込み、テープで止めれば簡単「棚靴箱」の完成です。

### 一時置きスペースがあると便利

玄関の隅の方にブロックを左右2個置き、奥行きが靴幅の天板を乗せて2段組みの靴収納ラックを作ってみては如何でしょう。



下駄箱の扉裏も収納に活用しましょう。粘着フックを付けて、折りたたみ傘や靴べらを吊るせたり、タオルハンガーを取り付けて、スリッパを挟み込んで収納できます。



## 「メモ帳から」その18

大槻茂



イラスト・ナメ川コーイチ

元侍従次長の重田保夫さんが、8月7日に亡くなられた。私は昭和57年から60年まで、皇居・宮内庁内にある宮内記者会詰めの記者をしており、当時、重田さんは東宮、つまり皇太子付きの侍従だった。はるか後輩の私が言うのは失礼かもしれないが、非常に有能で、判断の早い方だった。

広報担当が長かった重田さんとのかわりにはたくさんある。忘れられないのは、昭和58年3月、皇太子（現天皇）ご夫妻がザンビア、タンザニア、ケニアの三国を昭和天皇の名代として公式訪問された際の出来事だ。

私は、同行記者団の団長だった。最後の訪問地・ケニアのモンバサに着き、仕事のご夫妻との記者会見を残すだけとなった。そこで、重田さんに相談を持ちかけられた。「記者会見を省略させてくれないか」。明確な理由は、重田さんと言わない。

この会見は一連の公式行事の締めで、外国訪問の際には必ず最終訪問地で行われてきた。同行記者と扱いを話し合ったが、「特別の理由もないのに、公式日程を簡単に中止するわけにはいかない」という意見が大勢を占めた。だが、重田さんも引かない。最後に記者側は「取りやめるならば、日程が終わっていないので私たちは特別機に同乗しない。モンバサに残る」と通告したのである。

どういう調整をしたのか分からないが、記者会見は行われた。記者団が頑だったのは、当時の記者会とご夫妻との間が必ずしもしっくりとはしていなかったことにもよる。「東宮はわがまま」、と感じている記者が多かったのである。そういう空気を、重田さんは知っていた。そして、気配りを欠かさなかった。

今、皇室をめぐる話題は決して好ましいものばかりではない。それを側近が焚きつけているように見えるのも良くない。重田さんがお側近くにいたならば……という思いが募って仕方がない。

大槻茂 SHIGERU OHTSUKI

読売新聞社に入社後、社会部、生活情報部を経て、現在、青森大学客員教授。主な著書に「新天皇家の人々」「そばとうどん」「渋谷天外伝」など。

滑川公一 KOHICHI NAMEKAWA

イラスト・漫画修業のため渡仏。帰国後に個展「バリと猫と…」'82年度日本漫画家協会優秀賞受賞する。作品に「世界のショートショート傑作選」「なにぬねこ」など。

## 長年かけて培った人と人のつながりを大切にしていきたい

### 千葉県船橋市の高根台団地自治会

#### ●建て替えという変化の中で

なだらかに起伏を描く緑の芝生の間に建物  
がゆったりと配置され、高根台団地は、敷地内に小学校2校、中学校1校がある大規模団地です。新京成線の高根公団駅から徒歩5分、東京まで約1時間の通勤圏で、駅前には大型ショッピングセンター等が揃っています。

入居開始は昭和36年、翌年に自治会が設立されました。建物の老朽化が進む中で一部が高層住宅に建て替えとなり、現在の住宅戸数は3000戸前後。新旧の建物が混在する中で、自治会はどのように対応しているのでしょうか。事務局長の小池芳子さんに話を伺いました。

「階段でつながる低層の住宅に昔から住

んでいる人と、新しく入ってきた人とでは人付き合いの仕方も暮らし方も違います。時代の変化もあって、何が快適なのか？ 求めるものも人それぞれですね。居住者の皆さんのいろいろな意見や思いを調整しながら、47年かけて育んだコミュニティが壊れてしまわないよう、見守っていきたくて思っています」



■事務局長の小池芳子さん

これからの自治会活動は、大きく変わっていく時代に合わせて、より柔軟な対応が求められているようです。

#### ●イベントで世代を超えるつながりを

現在、自治会役員は25人。毎月1回の広報誌『たかね』と月3回の『自治会ニュース』を広報部と事務局で発行しているそうです。イベントは毎月のように開催されていて、今年7月に行われた夏祭りには、2万人の人たちが参加したとのこと。

「大規模な団地は高根台だけでなく、広範な地域の中心になっていて、周辺の方々も夏祭りを楽しみにしてくれています。地元の小学校や中学校の生徒さんたちも飾り付けや野外演奏などでお祭りを盛り上げてくれます」

8月の原爆写真展は、毎年大切な催事として20年近く続けているそうです。

「居住者の方から体験談を聞いたり、当時の写真や道具を展示したり。私たちは戦争体験と平和への願いをきちんと子どもたちに伝えていきたいと考えています」と小池さん。

9月の敬老会は今年で第46回目を迎えるそうです。

「楽しい時間を過ごしてもらえようという知恵を絞って、民生委員の方や地域のサークルと一緒に毎年企画を練っています。次回の大河ドラマの時代背景（来年は上杉家の家臣、直江兼続が主人公）について話を聞く“おもしろ歴史講座”は目玉の一つ。お茶出しの手伝

今回は千葉県船橋市の高根台団地自治会へ。47年という長い時間をかけて地域運動型の活動が定着し、大きなコミュニティを形成している様子をご紹介します。



■山車とお神輿のパレードや屋台が70店出て、人出を集めた夏祭り。



■夏祭りの会場に飾られたやぐら絵。描いたのは地元の高根台中学校美術部の皆さん。



■高層住宅各棟1階に設けられた「ひだまりサロン」。ミニ落語会などを企画中。



■敬老会では太鼓やジャズ演奏、歌の集いなどお楽しみイベントがいっぱい。



■お弁当を食べながらのおしゃべりも楽しい敬老会。笑顔で和やかな雰囲気です。



■10月の秋の運動会『わーい！ たかね体動祭』。雨天でも体育館で盛り上がりです。

いや接待役を務める地元の中学生たちの姿にはお年寄りも満面の笑顔です」

お年寄りには日頃から子どもの事故を防ぐために、登下校や放課後の見守り活動に参加してもらっているとのこと。高根台団地ではイベントや地域の活動を活用して、さまざまな世代が交流する場をうまく作り出しています。

#### ●広がっていく地域コミュニティ

自治会の新たな試みは、平成21年、団地の敷地の中央に誕生する複合型高齢者施設『高根台つどいの家』での、事業主やNPO法人、地域の団体との関係作りです。鉄筋コンクリート5階建ての施設内には高齢者専用賃貸住宅やグループホーム、デイサービスセンター、訪問介護事業所などが入る予定。

「団地には70歳以上の方が1400名ほどいらっしやるので、この高齢者施設には計画

段階から高い関心を持っています。地域の交流の場になってほしいという期待があり、自分たちも積極的に参加して関わっていききたいですね」

小池さんに、これから手掛けていきたいことを伺いました。

「今の時代って、高齢者の認知症や若い人の引きこもりなど、心のケアが必要だと思うんです。団地では長いお付き合いで育まれたつながりからさまざまな情報が入ってきます。寄せられた情報を元に保健師さんや民生委員さんと連絡を取って対応しています。難問は自治会活動のバトンを渡す若い人達がなかなかいないことですね。時代の変化の中で活動を継続させていくのは簡単ではないけれど、住まいと暮らしを守るための自治会活動は必要なもの。後継者を見つけて自治会活動を未来につなげていきたいですね」



## Remi Profile

シャンソン歌手で料理愛好家、

夫はイラストレーターの和田誠さん。

シェフではなく主婦として自作料理に情熱を燃やしている。

最近では自ら手がけるブログが大人気。http://www.remmy.jp/



# 平野レミの 早ワザごはん

## 味がジューシーとしみ込んだ いいお味なアジの南蛮漬け

手早く作るコツはアジを小さめに切ること。

少ない油で揚げられるし揚げるのも楽ラク！

揚げたてのアジにたっぷりプラスしたいのが

鮮やか赤、緑ピーマンとタマネギのスライス。

熱い漬け汁に揚げたてのアジを漬け込んだら

アツアツどうし、ジューシーと味がよくしみ込むの。

作るの早いけど、漬ける時間は長めにね。

長いほど味がしみ込んでおいしいよ！

## ■ 材料(4人分)



アジ(三枚おろし) ..... 4尾  
タマネギ ..... 2個  
赤・緑ピーマン ..... 各2個  
塩 ..... 少々  
片栗粉 ..... 少々  
揚げ油 ..... 適量

### 【A】

酒、みりん ..... 各大さじ6  
しょうゆ ..... 大さじ4強  
砂糖 ..... 大さじ4  
赤とうがらし(種ごとちぎる) … 2本

### 【B】

酢 ..... 大さじ2  
白いりごま ..... 大さじ4

## ■ 作り方



①タマネギは薄切りに、ピーマン、赤ピーマンは細切りにする。

②耐熱ボウルに【A】を入れ、ラップをかけずに電子レンジで約1～2分加熱し、【B】とタマネギ、ピーマン、赤ピーマンを加えて混ぜる。

③アジは三枚におろして、一口大のそぎ切りにして塩少々を振り、片栗粉をまぶしておく。

④フライパンに揚げ油を入れて高温(約180度)に熱し、キツネ色に色づくまで揚げる。

⑤油を切り、すぐに②に入れて味をなじませる。10分以上漬けること。



調理時間  
20  
分くらい

撮影：今清水隆宏

## 技plus

- カラッと揚げる秘訣は片栗粉をまぶしておくこと。
- 【A】の調味料を電子レンジで熱々にして揚げたてのアジにかけるとのコツ。
- 【B】はお酢が入っているので、加熱すると酸味が飛んでしまうので、分けて加えてね。
- すぐ食べても、しとらせてマリネしてもおいしいよ。

## 第九回

### レミパン 読者プレゼント☆

ご紹介のお料理がさらに簡単においしく作れる『レミパン』(平野レミ考案)を、抽選で1名様に。また今回はこの料理が掲載されている『平野レミのレミパンクッキング!』(レタスクラブ MOOK)も抽選で5名様にプレゼントします。詳しくは16ページに。



こんにちは  
JSです。

## こんにちは JS です。 清掃と点検で快適な住環境に—業務課・クリーンメイト

今回は、団地内の清掃や点検に従事して良好な住環境作りに努めている業務課・クリーンメイトの仕事について、千葉北支店業務課の上代幸男課長にお話を伺いました。

### Q. 業務課の仕事について教えてください。

ください。

—— 主な業務は団地内の清掃と点検、駐車場の経営、空き家の管理などです。時には放置された自転車などの処分を請け負うこともあります。



▲千葉北支店業務課の上代幸男課長

### Q. クリーンメイトが担当している業務は？

—— 当社では清掃作業のスタッフをクリーンメイトと呼んでいます。クリーンメイトは全国に約 3200 名おりまして、千葉北支店の担当団地では 110 名が従事しています。クリーンメイトは団地内を清潔に保つため



▲落ち葉を掃きながら、団地内安全パトロールを実施



▲公園の遊具をチェックして危険箇所がないかを点検中

に、建物の共用廊下やエレベーターホール、緑地、道路など団地敷地内を広範囲に清掃しています。団地にお住まいの方に最も身近で、団地内の現状を最も把握しているクリーンメイトは、清掃業務だけにとどまらず多岐に渡る業務を担っています。

### Q. 清掃以外の業務について教えてください。

—— クリーンメイトは常に団地内を清掃していますので、何かあると一番最初に気付くことが多いです。側溝のフタが割れたり、エントランスのガラス扉に亀裂が入るなど危険箇所を発見した場合は、カラーコーン等で安全確保を行い、管理サービス事務所に連絡します。長年の経験を持つクリーンメイトは、台風や大雨の後では危険な樹木の枝折れの発見や排水溝の手当てなどを行い、お客さまの安心と安全にすばやく対応します。

ほかに、65 歳以上の方や障害をお持ちの方のサポートとしてゴミ出しサービスを行っています。ゴミ収集の朝に専用の腕章をつけたクリーンメイトが契約しているお宅を訪問してゴミを受け取り、ゴミ集積所に出します。また、ご希望に応じて一人暮らしのお宅では訪問時に安否確認を行い、応答のない場合は事前に登録された連絡先への通知を行っています。同様の行政サービスが行われて



◀高齢者に喜ばれているゴミ出しサービス。利用料は月に8回で月額 500 円から。

いる地区もあるのですが、行政サービスを補完する役割りを含めて、安心して利用していただける息の長いサービスを目指しています。

### Q. 地域活動で取り組んでいることはありますか？

—— 地域に寄与する活動としては、ハチサン運動に参加しています。ハチサン運動というのは、品川区で始まった運動なのですが、朝 8 時の登校時と午後 3 時の下校時に大人



▲83 運動のハチのマークは子どもたちのお気に入り。



▲通路を清掃しながら子どもたちの登下校を見守るクリーンメイト。

和やかな雰囲気になります。



▲月1回、各支店毎に開く班長会議で情報の共有化を図っています。

### Q. これから取り組んでいくことはありますか？

—— “親しき仲にも礼儀あり” を基本に、当社ではマナー教育に重点を置いています。挨拶の励行、長い立ち話の禁止などを徹底して、マナーの向上に努めます。

また、クリーンメイトが道を掃くときに、ついつい団地の周りの公道まで、しかも少し外側まできれいにしてしまうこともあるようです。まるで自分の家の庭のようにきれいにする人たちだと、お褒めの言葉を頂戴することもあります。最も近くでお客様に接するクリーンメイトへの高い評価をありがたく受け止めています。その評価を保つために、どの団地でも同じレベルで仕事が進められるよう、班長会議を開いて情報を共有しています。班長はクリーンメイトのリーダーとして班をまとめ、マナー研修や救急救命講習を受けて研鑽を積んでいます。なお、今年からクリーンメイト全員が救命講習を受講します。知識や経験を積んで、より安全で安心できる住環境作りに取り組んでいきたいと考えています。



いつもたくさんのお便りをありがとうございます。読者プレゼントも盛りだくさん。皆さんの参加をお待ちしています。

## 「おたより」

毎年夏に開放される団地内チビッコプールで遊ぶ子供たちの元気な姿に高齢者も癒されております。 神奈川県／Y・Fさん

自治会の役員会に参加しました。この団地を楽しく、どの世代もいきいきと暮らせる場所にしたい。ボランティア精神あふれる皆さまに教えられ、私もお手伝いしたいと思いました。 東京都／T・Aさん

病院、銀行、スーパー、学校と、ないものはないくらい全て近場で用事がすみます。車がない私にはこれ以上の所はありません。 福岡県／S・Cさん

今年の夏、団地内の木でセミの羽化を子供と一緒にはじめました。とても感動的で、蚊に刺されてもおかまいなしに一時間ほど見てました。また来年も同じ木で見ればいいな…。 福岡県／Y・Mさん

淀川の近くに建つ私どもの団地はとても美しい風景です。橋の向こう側から見ると、白い建物が多い中、この団地はレンガ色に輝いています。 大阪府／K・Tさん

やかましいくらい鳴いていたクマゼミも静かになり、今日、ツクツクボウシの声を聞きました。 兵庫県／Y・Cさん

## 読者プレゼント



① 第九回レミパン  
…1名様

② 本・レミパン  
クッキング!…5名様

③ エコバッグ…25名様



☆ 第七回レミパンプレゼント当選者 ……………☆  
埼玉県 尾形玲子さん おめでとうございます。レミパンを送らせていただきました。

本誌同封のアンケートにお答えいただいた方の中から抽選で、平野レミさん考案の「レミパン」と料理本「レミパンクッキング!」、そしてプレイヤーズの「エコバッグ」をプレゼントします。アンケートのプレゼント希望欄をチェックし、送ってください。3品希望も有効です。締切りは平成20年12月末日(当日消印有効)とさせていただきます。

※エコバッグの色は選べません。ご了承ください。

## ◆川柳、団地生活気質◆

だんちせいかつかたぎ

団地での日々の生活風景を川柳(五・七・五)に綴ってください。

エコライフ 地球も人も ほっとする  
Y・Fさん

落葉はく ほうきの音に ありがとう  
A・Yさん

エアコンの 涼しさ忘れ かき氷  
Y・Mさん

公園を 我が家の庭と 思ってる  
M・Eさん

あらいやだ 襦を破く 元気な児  
O・Yさん

害虫も 永年住めば 家族だよ!!  
N・Kさん

いなづまの 近き光に 秋を待つ  
M・Eさん

## お便りをお待ちしています。

お便りを掲載させていただいた方には謝礼をお送りいたします。

宛先は、

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-9

JS 日本総合住生活(株) 広報課

「JSplus 読者のお便りから」係

\* お便りには郵便番号、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を書き添えてください。

## ●低騒音・短時間の工事を目指して

JSの仕事の大半は、皆様がお住まいの中行っております。そのためいかに工事中の騒音を抑えるか、作業時間を短縮するかなど、常日頃から考えております。そのための工具の開発や改良に取り組んでいます。

たとえば、室内のリフォーム工事においてコンクリートの壁を壊さなければならない場合があります。通常は、ドリルで壁を削っていくのですが、JSは発想を替えて、削るのではなく、壁をはさみ押しつぶしていく、ペンチを大型にしたような工具を開発しました。これにより工事騒音は大幅に低減します。

団地生活の安全・安心・快適をサポートする企業として、今後ともこのような取り組みを継続していきたいと考えています。



「JS開発の低騒音工具  
「コンクリートクラッシャー」

「SGPカッター」  
騒音をカットする給水管をカットする給



● JSplus は管理サービス事務所にも置かれていますので、ご利用ください。

● 本誌創刊号からのバックナンバーを、JSのホームページに掲載しています。一度ご覧になってください。

● 次号JSplusの発行は平成20年12月の予定です。